

五七五七七でつづるエピソード

あなたの愛を短歌で詠う

あいのうた

— 出会いから子育てまでの短歌コンテスト —

一般の部 受賞作品

最優秀賞

「ちゃあちゃん」が「かあちゃん」になり「おかあさん」へ
出世魚のように母になりゆく

永尾美典さん（兵庫県西脇市）

息子の成長と共に変わる呼称と共に、私も母として育てて貰ったように思います。

優秀賞

父よりも遠く見つめろ肩車 水平線の好きな子になれ

渡会克男さん（千葉県柏市）

テープに録音した息子の産声や昔の写真に懐かしくなって。

まちがえし見もすぐ和して 園児らの遊戯は左右に揺れるコスモス

井田寿一さん（滋賀県東近江市）

幼稚園で運動会が行われた時の状況です。

審査員特別賞

雪合戦おもしろいねと子がわらう「好き」がどんどん増えますように

水野真由美さん（神奈川県横浜市）

好きな事や物や人を沢山増やして、大人になってほしいなあ。

元気でと産まれた君にささやいた 今君が言う元気で居ろよと

沖 たみ子さん（高知県高知市）

23才の長女が家を出る日に私に言った言葉。生まれた時には私が言ったのに。時の流れは早いものです。

入選

姉は右、妹左が指定席 パパのお膝はきょうも満席

興津諱さん（静岡県静岡市）

長女8歳、次女5歳から父子家庭。がんばったらできた幸せな子供時代。今は長女22、次女19です。

亡き父のあざが娘の太ももに 命のリレーつないでいるよ

山本良子さん（静岡県牧之原市）

私が父から受け継いだあざが娘にもあることがわかり、感慨深くなりました。

笑い声 キャッキヤと響く 高らかに 小さな石さえ 素敵なおもちゃ

住田泉さん（大阪府豊中市）

愛おしい日々を心に刻むべく短歌にして残してみようと思い作ってみました。

子育ては良いことばかりが全てじゃない 辛い時こそ母になれるの

鈴木陽美さん（愛知県大府市）

子育ては良いことばかりではなく、辛いことも多い。だけど、それらを乗り越えた時に母になれる気がする。

プロポーズした砂浜を 子供らと 距離あけ歩く 恋人気分で

大平敦さん（秋田県秋田市）

仕事や育児に追われる毎日、プロポーズした砂浜を歩いている時に、距離が自然にあって恋人気分になりました。

真ん中の小さな両手をつないでる 私の右手あなたの左手

宮本明子さん（静岡県磐田市）

私の右手と子供の左手、子供の右手と主人の左手、横一列に繋がっていく家族の絆に気付きました。

岸に寄す さざ波のように幾度も 娘をなでる 我 海になる

島田敏恵さん（東京都渋谷区）

寝かしつけたりする時に子をなでるといひたすら繰り返しの行為が、まるで海の波のように感じた。

往く夫(つま)にひとめ見せたく児を負いて 静岡駅の闇に佇ちいし 塩谷千鶴子さん（静岡県田方郡函南町）

二度目の赤紙で夫が発つとき上の娘を負って内緒で会いに行った。兵隊の発つのはみたく夫は暗くて見えなかった。夜中の二時頃でした。

母見上げ ちさき指折り せり なずな 我もあとから すずな すずしろ 水谷美智子さん（静岡県袋井市）

七草粥を買いながら七草を覚えようと、母親の顔を見上げる姿が可愛く、私も反応してしまいました。

春風に二人で巻いた一本のマフラーならば飛べる気がする

小林功さん（千葉県船橋市）

一本のマフラーを二人で巻いた喜びで浮き浮きしてる。

ふた文字がこんなに胸を打つなんて 子が口にする初めての「ママ」

足立有希さん（兵庫県神戸市）

こんなに小さな子が自分をママとして認めてくれている。普段何気なく使っている言葉がひどく心に響いた。

嫁ぐ子と泊るホテルの夜の窓 影絵のやうな観覧車見ゆ

室野英子さん（静岡県伊豆市）

夫の亡き後、嫁いだ娘と式の前夜泊ったホテルの窓から見た観覧車に、いろいろ思い出しました。子育ての終わりでした。

弁当箱 母と息子を行き来して 様子知らせる連絡係

勝俣美由紀さん（静岡県駿東郡小山町）

口数が少ない子供達ですが、残さず食べてくれればまずは安心です。

南国の果実のごとく陽を浴びて 生後十日の子が眠る籠

種田淑子さん（兵庫県明石市）

長女を大きなバスケットに入れて日光浴させていた頃の思い出です。

「ふつう」とか「へいきん」だけでは見えて来ぬ あなたの良さをわたしは知ってる 後藤友紀さん（静岡県静岡市）

1歳足らずで保育所に子を預けて復職した。さまざまな葛藤を抱えながら駆け抜けた1年を振り返った歌です。